

# 「生活状況・調理経験・自尊感情等に関する調査」結果のご報告

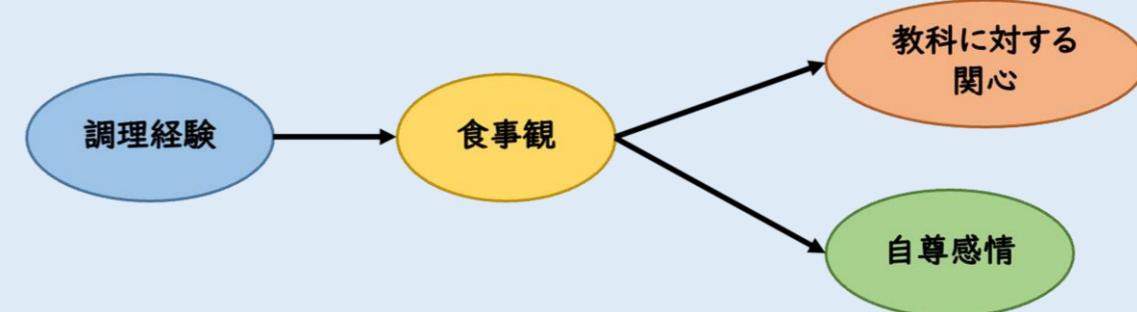
## お礼とご報告

余寒の候 皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。私たちは、調理体験をともなう食育によって、子どもたちが食事の重要性を実感し、また調理を通して「自分にはできる」といった自尊感情をもつことで、学習意欲にも良い影響があると考えています。さらに、調理経験の継続により、食の自己管理能力が育まれ、将来の健康管理につながると考えております。そこで、同志社女子大学実践栄養学研究室の学生と教員が中心となり、校長先生をはじめ先生方のご協力を得て、2年生を対象に生活状況、調理経験、自尊感情等に関する調査を実施致しました。ご協力いただき誠にありがとうございました。調査結果の一部をご報告させていただきます。

同志社女子大学生活科学部 教授 小切間 美保  
大学院生 澤村 敦子  
実践栄養学研究室 学生

## ◇調理経験と自尊感情などの関連について◇

「調理経験」は食への意識を表す「食事観」に影響し、さらに「食事観」は自分に対し良い評価を持つ状態を指す「自尊感情」や「教科に対する関心」に影響するという結果でした。

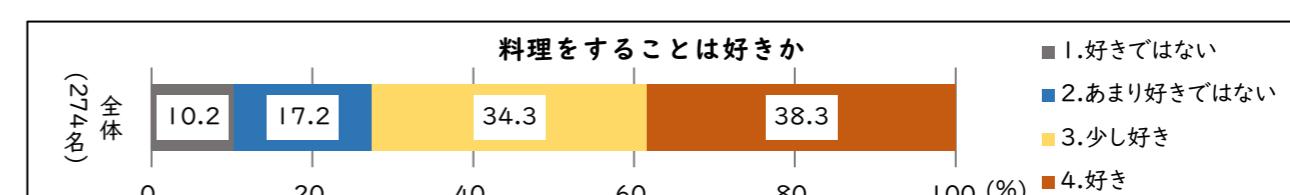
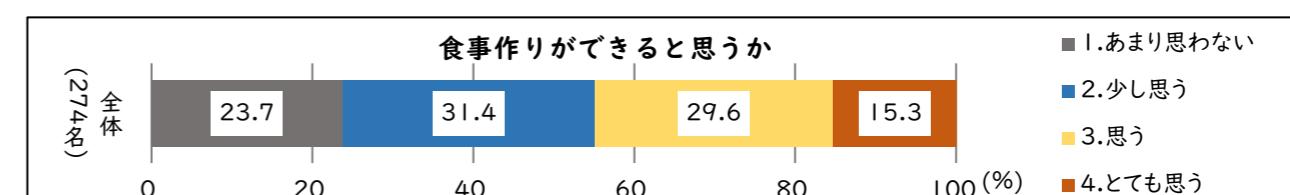
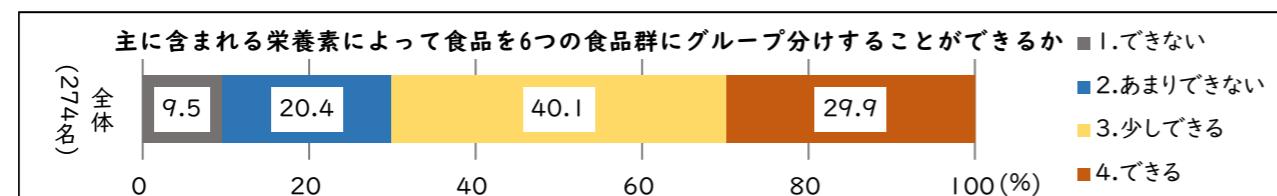


※2年生:274名, 分析方法:共分散構造分析

## 7月に実施した「生活状況、調理経験、自尊感情等に関する調査」結果のご報告

### ◇調査結果の概要(家庭分野の授業に関するもの)について◇

下のグラフは、質問項目のうち家庭分野の授業に関するものの結果を示しています。「主に含まれる栄養素によって食品を6つの食品群にグループ分けすることができる」人が約70%、「食品の表示を見て買っている」人が約65%、「食品を買うとき地元の食材を選ぶことを行っている」人が約40%でした。また、「食事作りをすること(お弁当以外)を行っている」人がお手伝いも含めて約60%、「食事作りができると思う」人が約75%、「料理をすることが好きだと思う」人が約70%でした。

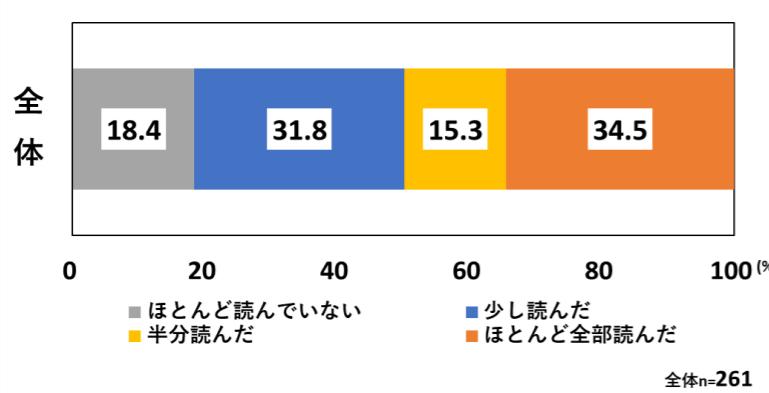


# 「食育教材活用状況の調査」のご報告

9月に実施した「食育冊子、HPの料理レシピ・料理動画等の食育教材の活用状況」の結果のご報告

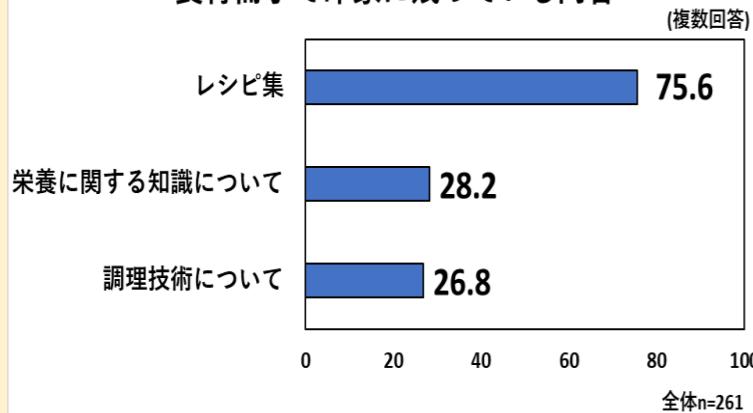
## ◇食育冊子について◇

食育冊子をどれくらい読んだか



食育冊子を読んだ(少し読んだ、半分読んだ、ほとんど読んだ)と回答した人は 81.6% でした。

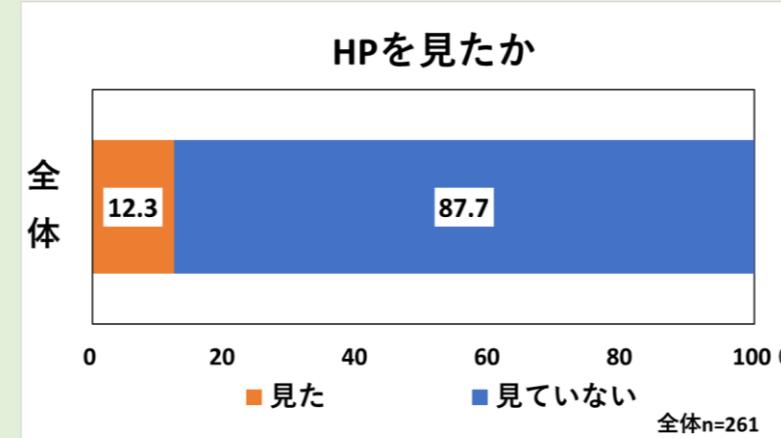
食育冊子で印象に残っている内容



食育冊子で印象に残っている内容(複数回答)で、「レシピ集」をあげた人が 75.6% と最も多く、「栄養に関する知識」が 28.2%、「調理技術」が 26.8%でした。

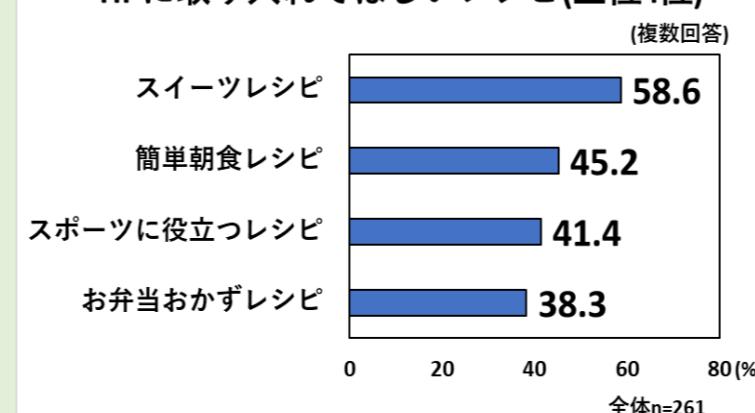
## ◇HPについて◇

HPを見たか



ホームページ(以下 HP)を見た人は 12.3% でした。  
HPには、食育冊子に掲載されているレシピの料理動画や  
新たな料理レシピなどの掲載を行いました。

HPに取り入れてほしいレシピ(上位4位)

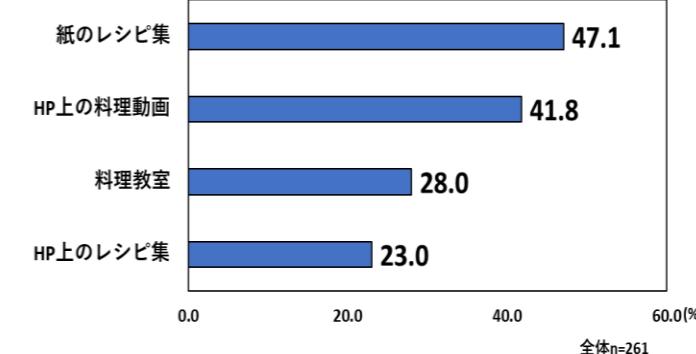


HPに取り入れてほしいレシピ(複数回答)は、「スイーツレシピ」が 58.6% と最も多く、次いで「簡単朝食レシピ」45.2%、「スポーツに役立つレシピ」が 41.4%、「お弁当おかずレシピ」が 38.3%という結果でした。

## ◇情報提供方法について◇

どのような情報提供方法がいいか

(複数回答)



どのような情報提供の方法がいいか(複数回答)という質問では、「紙のレシピ集」が 47.1% と最も高く、次いで「HP上の料理動画」が 41.8%、「料理教室」が 28.0%、「HP上のレシピ集」 23.0%という結果になりました。

## ◇まとめ◇

HPに取り入れてほしいレシピでは、「スイーツレシピ」、「簡単朝食レシピ」、「スポーツに役立つレシピ」が 10 選択肢中上位 3 位となり、これらのレシピが中学生に興味を持ってもらいたいやすいものであることが分かりました。

HPを見た人は 12.3% と少なかったですが、どのような情報提供方法が良いかという質問では「紙のレシピ集」が 47.1% に次いで「HP上の料理動画」が 41.8%と人気であったことから、  
紙のレシピ集と併用して HPでの情報提供も継続して行うことが望ましいと考えされました。

また、HPを見た人が少なかったことから HPを見もらえるような工夫を考える必要があることが分かりました。